

日常の中にひそむ、あなただけの自由を表現しよう。

「U25 Art Contest」作品募集

2025年10月4日(土)～11月3日(月・祝) 墨田区京島で公開展示

■一般財団法人東京都ユース・ホステル協会(東京都墨田区亀沢 会長上田幸夫 以下 TYH)は Imaginative Youth Collective(共同代表 根岸朱、山藤大地 以下 IYC)の協力を得て、本年10月4日(土)から11月3日(月・祝)まで開催予定の「すみだ向島 EXPO 6」と連動し、15歳から25歳までの若年層のアート・表現活動を支援し、作品を募集・審査・展示・販売を行う「U25 Art Contest」を開催いたします。

<U25 Art Contest 実施概要>

募集期間:7月10日(木)～8月9日(土)

公開展示期間:10月4日(土)～11月3日(月・祝)実施(火～木休み) 10:00～17:30

*「すみだ向島 EXPO」の開催期間、時間に準じる。

会 場:京島 3-23-11 TACHIBANA TERMINAL (元京島劇場)1F ギャラリースペース



主催:一般財団法人 東京都ユース・ホステル協会(TYH)

実施運営:TYH+IYC 作品販売:入賞者

協力:すみだ向島 EXPO 実行委員会(八島花文化財団)、京島劇場

<今後のスケジュール>

●募集期間 8月9日 締め切り

- 8月中旬～9月初旬 作品審査(予定) 9月初めに入賞作等決定。HP等で発表。入賞者へ連絡。
- 9月中 実施準備
- 10月2日(木)・3日(金)会場施工予定、入賞者設営。
- 10月4日(土)～11月3日(月・祝)実施

<TYH 「U25 Art Contest」 応募要項と審査基準>

【応募者の皆さんへ】

Imaginative Youth Collective (共同代表 根岸朱・山藤大地)

～日常の中にひそむ、あなただけの自由を表現しよう～

アートの価値って何だと思いますか——

自分の気持ちをアートという形で表現すること、そこに理由は存在しません。

近年、多くのアーティストは社会に対し、自らの意見を持って、何か問題提起をするように表現、創作をしています。

かの現代思想家・ジャン＝ボードリヤールは「単に無価値性を主張することでしか現代アートはその存在価値を見いだせなくなっている」と批判しました。

問題提起がただ単に無価値性の主張になってしまうのであれば、本来の【自由】なアートに、立ち返るべきなのではないでしょうか。

そのため、今回向島 EXPO と同時開催する、この U25 Art Contest のテーマを「日常の中の【自由】」としたいと思います。アートは、社会のしがらみからの「解放区」として、私たちの目前に【自由】を広げてくれます。

自分の部屋や、おばあちゃんちのトイレ、カフェの壁、公民館の一室、どこでも構いません。屋内のどこかに飾られていて、それを見た時に何か心が解き放たれるような、そんな作品を自由に制作してください。

「日常の中の【自由】」ということで、どこか屋内の一角に飾ることを想定していますので、大きさの制約はありますが、それ以外に制限は一切ありません。自分の手の動くまま、美しいと思うものを表現してください。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募要領】

応募資格： 日本国内に在住する 15 歳～25 歳。(実施時満年齢)

応募作品： 幅広い表現作品を募集する。表現活動のジャンルは問わない。未発表作品に限る。

参加費： 無料(但し、応募者がこの U25 Art Contest の応募について SNS(X、Instagram 等)で発信すること。#U25ArtContest を付けて発信。

応募方法：

以下の項目や作品のデータ、作品説明を応募フォーム(※QRコード)よりお送りください

- * 氏名、年齢、所属(学校名、会社名等)、メールアドレス、携帯電話。
- * 作品コンセプト・内容説明の文章を、それぞれ日本語の場合 100 字程度で簡潔にまとめること。
- * 立体作品の場合、正面・側面・背面・上・全体・細部の加工やデザインがわかる映像または画像。
- * 画像データの場合は 20MB 以内の jpeg ファイル、解像度は 1600×1200 ピクセル以上を推奨。
- * 映像または音声データの場合、長さ 3 分以内、ファイル形式:MP4、MOV。
- * 提出するファイル形式は JPG、PNG、PDF、またはそれらをまとめた ZIP のいずれか 1 点(500MB まで)のみ。
- * 一人 1 作品、未発表の作品に限る。

応募はこの QR コード 又は [こちらから](#)

どちらも Google アカウントへのログインが必要です



最優秀作 1 名 ・ 入賞作 10 名

賞金： 最優秀作 10 万円 ・ 入賞作:作品製作補助費 1 万円

審査委員： 後藤大輝氏(すみだ向島 EXPO 実行委員長) ソウダルア氏(食アーティスト)

小畑亮吾氏(音楽家/作曲家/ヴァイオリニスト) テンギョウ・クラ氏(ヴァガボンド)

すみだ市民審査員(公募) 他1名を予定

【審査・発表・展示・設営】

審査項目: テーマの理解度、企画の独自性、具体的な手法等

審査方法: 各審査員の持ち点の合計で審査(審査員の合議による)

結果の発表・通知: 審査終了後、入賞者には通知。発表は登竜門。TYH ホームページ他で発表予定。

展示: 入賞者発表後、すみだ向島 EXPO 開催前の10月2日・3日に指定された展示会場に作品を搬入し応募者自身が設置(撤去も)。主催者側も立ち合いサポートを行う。

主催者側の作品展示、PRコーナーは主催者が設営。また全応募者の作品リストの公開も予定。

販売: 入賞者の作品は販売も行う予定。※販売方法、価格については入賞者と相談の上で決定。

注意事項

- 提出資料データの返却は行わない。作品制作にかかる費用は応募者負担。
- 応募者の個人情報、情報セキュリティに留意して扱うと共に、本事業以外には利用しない。
- 応募作品の著作権は作家に帰属する。ただし、主催者はホームページやその他の媒体への掲載など、展覧会の運営および広報に関して自由に利用できるものとする。

<問い合わせ先>

■募集要項・作品応募について

連絡先: Imaginative Youth Collective まで E-mail: imaginativeyouthcollective@gmail.com

■取材・企画全体

連絡先: (一財)東京都ユース・ホステル協会 E-mail: tokyo.yh@vesta.ocn.ne.jp 堀場
または E-mail: wadadas2011@gmail.com 和田

参考: (一財)東京都ユース・ホステル協会 [公式サイト](#)

